

## 特集

# 方言を地域活性化に生かせ 民間団体、自治体など多彩に活用

6

2	藻谷浩介の直言
4	ニュース & インサイド 福島県、職員3500人の在宅可能に
5	霞が関 底流伏流 (国土交通省) 「Go To トラベル」で迷走
18	地域ブランド戦略 殿村 美樹氏 火箸のイメージを変えた音色
20	フォーカス 迫る多死社会、自治体の備えは
26	地方移住の現実と課題 清泉 亮氏 コロナで明暗、移住者同士対立も
28	グローバルレポート 八木 寿史氏 韓国における消防官の国家公務員化
30	キーパーソン 環境省自然環境局国立公園課長 熊倉 基之氏
32	自治体財政 改善のヒント 鈴木 文彦氏 茨城のアンテナショップ戦略
34	インフラ老朽化、地方の危機 植野 芳彦氏 すべては守り切れない橋 トリアージの理解を
36	観光の事業システム 高橋 一夫氏 「訳あって安い」商品の作り方
38	地域共生社会への課題 浅川 澄一氏 在宅医療に新星、「やまと診療所」
40	自治体会計と監査制度 川口 雅也氏 公会計情報が使われるために

42	大学、地域を拓く 埼玉大学 ウイルスの検査精度向上や新薬開発を目指す
44	議長に聞く 福井県越前市議会議長 三田村 輝士氏
45	ニュース・ウォッチング
52	Book Review/バックステージ

お断り 「グローバルインタビュー」  
「スポーツタウンへまちづくり」は休みました。



### 〈表紙の写真〉鹿児島方言研究会による鹿児島弁の面白さを伝える講座

鹿児島方言文化協会の種子田幸廣会長は鹿児島方言研究会の会長も兼ねる。同研究会は「おもしろ鹿児島弁を楽しむ講座」を月に1回開催。方言の紹介だけでなく、話し方講

座、方言によるクロスワードパズルなどに取り組んでいる。今夏には鹿児島弁検定協会事務局に「鹿児島弁図書館」(写真上)を開設し、方言関係の書籍や郷土誌をそろえた。方

言に関心を持つ人に無料で貸し出すほか、子どもたちに方言を伝える集いや研究活動の場としての活用を促している。(文=西村 正巳、写真=鹿児島方言文化協会提供)